

令和二年度医学研究助成金・外国人留学生奨学金の授与式を開催

令和三年度肥後医育振興会医学研究助成金及び肥後医育振興会外国人留学生奨学金の合同授与式が、令和三年十月二十七日に肥後医育記念館二階展示室において行われ、西理事長から医学研究助成金四名、外国人留学生奨学金四名に対して、各十五万円が受賞者一人一人に手渡されました。また、それ



令和3年度医学研究助成金・外国人留学生奨学金の授与式

ぞれの受賞者の代表者から謝辞及び今後の決意が述べられました。

令和二年度熊本大学病院群卒後臨床研修プログラム研修医育成事業報告

熊本大学病院

総合臨床研修センター長

向山 政志

平素より熊本大学病院群卒後臨床研修プログラムの研修医の指導・育成にご協力頂き、誠に有難うございます。

令和三年度は昨年同様、未だ終わりの見えないCOVID-19パンデミックのため、多くの医療機関がその対応に追われた年であったと思います。ある程度ノウハウは確立されてきたとはいえ、日頃の診療と感染拡大防止にご尽力されている皆様に改めてお礼申し上げます。また、この関係で令和三年度は対面での研修説明会は行わず、またオンラインでの説明も十分でなかったこともあり、熊本大学病院群のマッチャーは九名（令和四年度採用者七名）とかつてない減少を示しました。一方、熊本県全体としてのマッチャー数は九十九名であり、大学以外の基幹型研修病院は堅調でした。この減少の要因を分析するため、医学部生に対してアンケートを実施し、待遇面や救急研修が不十分など多くの意見が寄せられました。さらに、医師三年目の専門医プログラ

ムでは、ここ数年の採用者（熊本大学入局者）は例年百名前後でしたが令和四年度は六十八名と減少しました。この年度は県内出身者が少なかったことも要因のひとつと考えられますが、今後さらにアピールを強化していく必要を感じています。

令和四年度の研修プログラムからは内容を大幅に変更し、大半を「自由設計コース」として新設、個々の希望に合わせて研修病院（三つまで可）・研修期間・診療科の選択が自由に行えるようにしました。また、救急症例の経験増を求める声に対して、所定の救急部門研修以外のときに、月に二日程度救急研修ができるようプログラム改善を図りました。さらに、給与等処遇面の改善についても検討を行っており、より大学での研修が魅力的なものになるべく努めています。加えて、充実した指導体制のもと大学ならではの症例を経験できる、関連病院との裨りかけてバランスの取れた研修ができる、三年目以降の専門研修へのシームレスな移行が可能、多くのレクチャーや講習会など熊本大病院群所属ならではの勉強ができるなど、本プログラムの魅力がより積極的に学生・研修医に呼びかけています。今後刻々と状況が変わりゆくなか、研修医・専門医の確保に努め、当卒後臨床研修プログラムが県内の医師育成に貢献できるよう、さらに努力していく所存です。肥後医育振興会の

皆様には、今後ともご支援、ご指導をよろしく願いますとともに、一刻も早く皆様と自由にお会いできる日がくることを願っております。

第21回熊本大学医学部医学科医学教育FDワークショップを開催して

熊本大学医学部医学科長

尾池 雄一

熊本大学医学部医学科医学教育FDワークショップ（FDWS）は、医学教育に携わる大学教員の教育能力を高め、大学の組織的改革を目的として、二〇〇〇年に第一回が開催されて以来毎年開催されており、今回の開催が二十一年となりました。

過去のFDWSでは、熊本大学医学部医学科の学修成果、教育方法、学生の評価方法、診療参加型臨床実習の充実等についての議論がなされ、その成果は学修成果の策定、統合卒業試験の導入、臨床実習の充実等に繋がっています。また、二〇一七年度、二〇一八年度、二〇一九年度は日本医学教育認定評価評議会（JACME）による医学教育分野別評価についての議論がなされ、その成果は自己点検評価書作成や実地調査に生かされ、七年間の認証取得に繋がりました。

今回は、二年ぶりに対面形式にて開催し、教職員合計三十一名が参加しま